



NUMAZU JAPAN CHARTERD, 1967





沼津ワイズメンズクラブ

事務局 〒410-0022沼津市大岡下石田1428-1 沼津YMCAセンター内

2019年 4月 THE Y'S MEN'S CLUB OF NUMAZU

国 際 会 長 Moon Sang Bong(韓国) 主 題: "Yes,We can Change" 「私たちは変えられる」

アジア太平洋地域会長 田中博之(東日本区) 主 題: "Action" 「アクション」

東日本区理事 宮内 友弥(東京武蔵野多摩) 主 題: "No challenge, No fruit"「為せば、成る」

富士山部長 渡邉実帆(沼津) 主 題: 『活き活き!ワクワク! 仲間と共に!』

沼津クラブ会長(泉文雄) 主 題: 『大道無門』



4 月 例 会

4月9日(火)18:30~

ニューウエルサンピア沼津

司会: 山野Y's

- ◇ 開会 点鐘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・泉 文雄 会長
- ◇ 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・長谷川 Y's
- ◇ ワイズの信条/ワイズソング・・・・・・・・ 野 Y's
- ◇ 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・泉 会長
- ◇ ゲスト・ビジター紹介
- ◇ 誕生日・結婚のお祝い
- ◇ 食前の感謝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 会木 Y's

「青年海外協力隊としてケニアで見てきたこと」



◇ 出席率/スマイル報告・・・・・・各委員会

- ◇ 閉会の言葉・・・・・・・大村Y's
- ◇ 閉会点鐘・・・・・・・・・・・・・・・・泉 会長

今月の聖句

わたしには、すべてのことが許され ている。しかし、すべてのことが益に なるわけではない。わたしには、すべ てのことが許されている。しかし、 わたしは何事にも支配さればしない。

コリントの信徒への 第一の手紙 6章12節



April

Happy Birthday

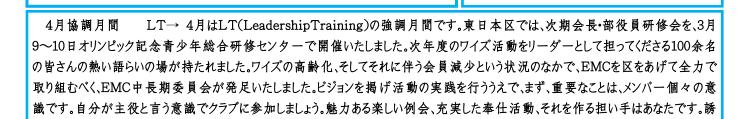
11日 鈴木美代子Y's 猛さん

Wedding Anniversary

8 E 23

8 日 小林 隆Y's

23 日 大村 貴之Y's



われるのではなく誘い手になりましょう。皆さんが誇りと情熱をもって活動するその先にワイズの未来が開かれます。

A Time for Action! 今こそ行動のとき

LT北村文雄(厚木クラブ) 理事通信4月号より

3月例会 報告 3/12(火) ニューウエルサンピア沼津



3月例会は稲田ワイズの卓話で、「東京オリンピック・パラリンピック自転車の聖地を目指して」と題して、お話していただきました。オリンピックの競技場としてはすでに中伊豆のサイクルスポーツセンターが発表されているが、「東京五輪のロードコースでも男子は富士山スカイラ

インや三国峠を越える234km、獲得4,865m、女子は富士山麓と三国峠を除いたコースとなり、山中湖から籠坂峠を下って富士スピードウェイにフィニッシュする」など、東部地域は関りが深いため、特に自転車競技を盛り上げようというお話でした。稲田ワイズは『espo』静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会の会長も務められ、このオリンピックを機に今後も地域のスポーツが盛り上がるといいという意気込みが感じられました。

泉会長が自分が出られない代わりに、元メンバーの杉崎、松本両氏にも声をかけ、懐かしい顔ぶれが揃いました。また小林ワイズがご自分の会社関係の方を沢山誘って、メンバーよりゲストの多い例会となりました。ただ、ゲストが何名来られるのかの連絡が行き違い、ゲストの情報がなく、後にして思えば大変失礼な例会となってしまいました。折角ワイズを知っていただくよい機会だったのですが、それが少し残念でした。 報告:渡邉実帆





卓話内容について

稲田精治



「東京五輪パラリンピック、サイクリングの自転車競技がこの地域で開催されるきっかけは、伊豆市の日本サイクルスポーツセンターに国内唯一のトラック競技施設「伊豆ベロドローム」があるからで、海外選手あこがれの富士山に向かってロード競技ができる小山町の富士スピードウェイをゴールにできることだった。オリンピックで民間施設を利用することは珍しいとのこと、大会後に施設を利用するかしないかで、所有者の費用負担に違いが発生するようだ。

伊豆ペロドロームは10年前にオープン、1800席を倍の3600席に拡張し、マウンテンバイクは新規にコースを造る計画であり、費用負担はどのようになるだろうか。国内最大のロードレース、ツアー・オブ・ジャパンが5月24日に富士山ステージが小山町周辺、5月25日に伊豆ステージが日本サイクルスポーツセンターで開催される。6月には全日本自転車競技選手権が富士スピードウェイ特設コースで開催されるので、来年の東京五輪パラリンピックの自転車競技をより楽しむためにもこの機会に観戦するとよい。

「伊豆のへそ」に世界最大の自転車展示場が開設され、ブリジストンサイクルの自転車競技チームが三島市に拠点を設置、時の栖にマウンテンバイク・コースがオープンした。小山町ヒルクライム大会や清水町クリテリウム大会、狩野川シクログ大会、伊豆スカイライン国際ヒルクライム大会などが開催されている。自転車置き場のバイシクルピット、レンタサイクル、シェアサイクル、モーバイクレンタル、自転車の道しるべ「矢羽根」の表示など、東京オリンピックの500日前、3月12日を契機に大会への機運が盛り上がってきた。そして静岡県東部地域の自転車文化が定着するように取り組んでいることをプロジェクターでわかり易く説明され、理解を深めることが出来たと思います。

会長メッセージ(つぶやき No'45) 泉 文雄

3月14日DBC京都トップスクラブ訪問(4クラブ合同例会CATT)しました。去年度はDBCトップスクラブの当番で、沼津クラブからは3名の参加でしたが、今年は7名のメンバーの参加。観光(グルメ?)グループとゴルフグループと別行動で、私と渡邉ワイズは朝5時に新東名駿河湾パーキング出発~滋賀甲南市(センチュリー・シガゴルフ)8時半にはゴルフ場到着。去年京都YMCAのチャリティ―コンペをしたところで、京都プリンス岡西君と京都エイブルクラブ(富士クラブのDBC)の上澤君の4名で寒さに震えながら



(霰降る中)プレイ。18時半には例会場到着。百数十名の活力の有る素晴らしい例会、あっと言う間の2時間でした。その後トップスクラブのご厚意の2次会、相磯ワイズの仙台アジア太平洋地域大会のPRの話題で盛り上がり、最高のおもてなしに感謝、大変お世話になりました。翌日は我がグループは比叡山ドライブウェイ~琵琶湖大橋~彦根城へ。屋形船でお堀回りを予定していたのですが、屋形船が運休で、急遽人力車に変更。3人乗り(しっかり値引き交渉半額に・・)内堀・中堀と写真スポットなどガイドをしてもらいながら彦根城の素晴らしい城の景色を堪能し、玄宮楽々園でお抹茶を頂き帰途に。今回の合同例会、懇親&観光ととても良い旅でした。お世話になった皆様に感謝致します。桜には早くちょっと残念でしたが、またの機会にDBCの彦根クラブにはお邪魔しようと思っています。

3月14日(木) 西日本区京都部四クラブ(CATT)合同例会に参加して

報告:平野 正文

旅の楽しみ方は人さまざま。私の場合は、青春18切符等格安チケットを利用してローカル線に揺られて、知らない町を歩くこと。ただ今回のワイズの仲間との京都への旅は私のそのスタイルとはかけ離れたものであり、ある意味、強烈な体験を伴うものになりました。まず、「007」の映画の世界に登場するBond Carを彷彿させる超高級車での高速道路の疾走はとにかく快適なものです。初日の京都までの時間は5時間、帰りは渋滞もあり6時間。全行程、超700kmを運転してくれた小林さんには本当に感謝しています。

初日の午後、京都YMCAを訪問して、各施設が地域の人々のために素晴らしい支援活動をしている様子に感心しました。例会は京都駅前の結婚式場ということでアクセスが大変に良く、4クラブ合同ということで人数も多く、初めから終わりまで活気に満ちたものでした。トップスクラブとの2次会では、(私はお茶を飲んでいただけですが)アジア太平洋地域大会のことでも盛り上がり、あっという間の2時間を過ごしました。

翌日は、東寺、建仁寺、安井金毘羅宮等を巡った(実際には、連れて行ってもらった)のですが、神社・仏閣以上に昼食で食べたおかきたの「そば」、そして祇園、鍵善良房での「くずきり」が最高級に美味しくて印象に残っています。修学旅行の引率や個人旅行で何度も京都を訪れていますが、私にとっては今回は初めての京都の美味をめぐる旅といったほうが正しい表現だと思います。こんな旅は、ワイズに入っていなかったら絶対に経験できないなと正直思っています。皆さん、本当にありがとうございました。







横浜つるみワイズメンズクラブ(仮称)設立総会が開催されました。 湘南・沖縄部スポンサー

3月17日(日)湘南沖縄部に新しいクラブが誕生(設立総会)致しました。鶴見中央地域ケアプラザ、鶴見中央YMCA、生麦地域ケアプラザ、YMCAつるみ保育園、YMCAライフサポートセンターなど諸機関の協力を仰ぎ、主にその地域で行われている「うたごえ広場」に参加する方たちをチャーターメンバーとして設立されました。京浜地域における新たなワイズ活動の芽生えになるものと期待されています。メンバーは女性7名男性1名合計8名からの出発です。小さく生まれても大きく育て!みんなで応援しましょう。

Step留学生「Ms Pahani」 歓迎会に参加して

3月21日STEP留学生のパハニさん(スリランカ)が来日、熱海クラブの青木さんがホームステイを受け入れられていた関係で富士山部長として24日歓迎会に参加してきました。通訳は熱海クラブ泉明寺コメット"泉明寺さくや"さん、さすが熱海スピーチコンテスト優勝者の素晴らしい通訳に大人は皆、「通訳さま宜しく!」で安心して日本語でワイズ談議。次の日3/25は熱海クラブの例会で卓話。ここではご自分の国についてお話されました。ここでも泉明寺コメットが大活躍でした。青木ご夫妻は3/26(火)に富士山四合目(五合目はまだクローズ)から長野県へ行かれて、彼女は雪だるまに大喜びだったそうです。しかし彼女が足を少し痛めてしまい、30日(土)次の滞在地である宇都宮の山田公平さんのところまで車で送っていかれたとか、青木ご夫妻本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。





4月6日~7日 東山荘で第3回東日本区役員会が開催されました。

渡邊実帆

役員会の詳細は後日。ITアドバイザーの大久保さん(宇都宮クラブ)からの報告で、東日本区ウエブサイト閲覧状況ベスト5になんと!我が沼津クラブが入っ



ておりました。思いがけないことです。嬉しいですね。沼津クラブの活動に全国の皆さんが興味を持ってくださっているということではないでしょうか。これからもしっかりとした活動、そして皆さんに「ワイズメンズクラブ」を認知していただくことを目指したいですね。

←見にくいですが、堂々5位です。ありがとうございます。

<3月役員会報告> 3月18日(月)沼津YMCAセンター18:30~

出席者;泉、渡邉、相磯、鈴木、杉谷、稲田、長谷川、山野、大村、平野(10名)

活動報告

- ①3月例会;出席者10(67%)、ビジター6、ゲスト14
- ②3月14日:京都4クラブ合同(CATT)例会;泉、渡邉、相磯、杉谷、鈴井、小林、平野

審議事項

①4月例会:4月9日(火);ニューウェルサンピア 卓話者; 芦川 咲さん杉谷ワイズ紹介 (JICAで2年間、アフリカ滞在)

②4月14日(日)日本語スピーチコンテスト 集合11:00 (プラサヴェルデ)

参加申し込み者;現在9名 参加賞;3,000円クオカード 採点表;大村Y's作成

- ③5月14日(火)5月クラブ月例会卓話者: 大村Y'sから依頼する
- ④新クラブ設立(エクステンション)についての計画説明;

渡邉Y'sより 21日富士山部エクステンション委員会で検討

⑤その他

※7月19日(金)~21日(日)第28回アジア太平洋地域大会(仙台)

※3月21日富士山部エクステンション委員会

熱海YMCAセンター 13:00~出席者:稲田、渡邉、泉 <今後の予定>

4月9日 (火)4月クラブ例会;ニューウェルサンピア

4月14日(日)日本語スピーチコンテスト(プラサヴェルデ)

4月15日(月)4月役員会

4月17日(水)富士山部チャリティーゴルフコンペ(沼津GC)

5月14日(火)5月クラブ月例会

5月19日(日)第3回富士山部役員会、評議会、次期役員研修会

5月20日(月)5月役員会

5月25日(土)熱海YMCA総会(YMCA定款改正)

5月31日(金)~6月2日(日) 第22回東日本区大会

(オリンピックセンター)

報告:平野書記

★写真コンテストのご案内

今年度も「地域奉仕・YMCAサービス写真コンテスト」を下記要綱にて実施中です。多くのご応募をお待ちしています。

- ・昨年4月~今年の3月までに撮影されたもの。注)ウェブサイトに掲載します。個人が特定できるものは必ずご本人の許可を得てください。
- ・応募期間は4月15日まで
- ・ウェブサイトおよび区大会にて投票を受け付け、後日発表します。

受付及び問い合わせ先

地域·Yサ主任 大久保知宏

t.ookubo@hh.fujii.co.jp

▲2019 ワイズメンズクラブ国際協会

SENDAI JAPAN 第 28 回アジア太平洋地域大会

メネット連絡員よりご報告



御殿場クラブさんから折鶴を預かりましたので(左の大きい袋)沼津クラブの鈴木美代子ワイズ作成の鶴(右の綺麗に整理してあるもの)と一緒に、北東部の涌澤部長宛(仙台YMCA)送りました。その後も折鶴があれば仙台七夕に出すとの事、これで終わりではなく、まだまだ間に台います。今後とも御協力宜しくお願い致します。

在籍者	18 名	3月スマイル	¥	18,105
出席者	10 名	スマイル累計	¥	132,565
ゲスト・ビジター	20 名	BF現金	¥	0
メイキャップ	2 名	YMCA基金	¥	20,791
広義•功労会員	3 名	3月修正出席率		80%

編集後記:4月1日新元号が発表されました。『令和』「令和」の典拠は、『万葉集』の巻五、梅花(うめのはな)の歌三十二首の序文からだそうで、安部総理が「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味を込めたと説明されました。早速「令和」のお菓子が発売されたりブームにあやかってみんなで盛り上がっていますね。人々が美しく心を寄せ合う素晴らしい日本になりますように・・。 http://numazu-ys.jp E-mail: mail@numazu-ys.jp ブリテン担当 M